



テーマ「捕鯨はどうなるのか」

かつて日本は捕鯨大国でした。現在では、調査捕鯨のみが認められています。捕鯨に対しては、欧米の動物愛護団体を中心に反対が根強く、「シーシェパード」などのように、日本の調査船に対して、過激な妨害活動を行う団体もあります。

いわゆる捕鯨問題について、ボブとサリーにそれぞれ意見を述べてもらいましょう。

ボブ

ぼくは和歌山県の太地に行っかつてどんなふうにか捕鯨をしていたのか、きいてきました。たしかに、大量にクジラを捕り、生態系のバランスを崩してしまうのはまずいけれど、日本では1000年以上クジラを利用してきたのです。その文化を踏みにじるような反捕鯨活動には怒りさえも感じます。

サリー

わたしはオーストラリアにホームステイしたことがあります。豊かな自然のなかで、人間と動物が共生していることをはっきりと感じました。日本も長年クジラを食していたのですが、現在、どうしても必要な食糧というわけではありません。動物保護の観点からも、古い文化を見直す時期に来ているのだと思います。

ボブは「捕鯨」について
(賛成・反対)している。

彼がいうその理由を箇条書きにしよう。

Empty dashed box for writing Bob's reasons.

上の意見についての反対意見を
それぞれ箇条書きで述べよう！

Empty dashed box for writing counter-arguments to Bob's opinion.

サリーは「捕鯨」について
(賛成・反対)している。

彼女がいうその理由を箇条書きにしよう。

Empty dashed box for writing Sally's reasons.

上の意見についての反対意見を
それぞれ箇条書きで述べよう！

Empty dashed box for writing counter-arguments to Sally's opinion.

先生のコメント

長い伝統を持つ日本の捕鯨に関してどのような影響があるのかということや、食文化の違い、他文化に対するまなざしなど、わたしたちが多様性を認めていく一方で、地球規模のルール作りをしなければならないという点も考える必要がありそうです。

あなたも、このクラスの一員になったつもりで「これからのクジラとのつきあいかた」のタイトルで、下に挙げる条件に従って、文書を書いてみましょう。



- ① 先生が述べた補足説明や注意にしたがうこと。
- ② 書くべき文章は下記のように4段落構成にする。読み手・聞き手に自分の考えがわかりやすく伝わるようにすること。
 - 1、「自分の意見・主張」
 - 2、「意見の理由・根拠」
 - 3、「予想される反対意見とそれに対する反論」
 - 4、「まとめ」
- ③ いきなり文章を書かずに、文章の流れを示すチャートやメモを書くようにすること。

